

# 「国際平和文化都市」の実現に向けて

はじめに(総合計画について)

## 総合計画

総合計画は、広島市のまちづくりの基本的な方向を定めるもので、広島市が策定する全ての計画の最上位に位置付けられるものです。

## 都市像

広島市は、まちづくりの最高目標となる都市像に「国際平和文化都市」を掲げています。

## 「国際平和文化都市」の実現に向けたまちづくりの3つの柱

### 世界に輝く平和のまち

世界で最初に被爆し、廃墟から立ち直った都市として、世界の都市や市民社会などと連携しながら、「平和への願い」を世界中に広げるまちづくりに取り組みます。

### 国際的に開かれた活力あるまち

中四国地方最大の都市として、充実した都市機能や都市基盤を備え、活発な経済活動や多様な人々の交流が行われる国際的に開かれた活力あるまちづくりに取り組みます。

### 文化が息づき豊かな人間性を育むまち

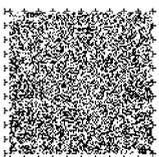
多様な市民が、健やかでその価値観やライフスタイルに応じ、共に助け合いながら生き生きと暮らせるような豊かな文化と人間性を育むまちづくりに取り組みます。

### 広島市が目指す「平和」とは

- 広島市は、人類史上最初の被爆都市を「恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴」である「平和記念都市」として建設することを目的とした広島平和記念都市建設法(昭和24年(1949年)制定)を基に、様々な支援を得て復興に取り組みました。
- その後、昭和45年(1970年)から一貫して都市像に「国際平和文化都市」を掲げ、その具現化に取り組んでいますが、そこで目指す「平和」とは、世界中の核兵器が廃絶され、戦争がない状態の下、都市に住む人々が良好な環境で、尊厳が保たれながら人間らしい生活を送っている状態をいいます。

### SDGsとの関係

- 持続可能な開発目標(SDGs)は、平成27年(2015年)に国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」社会を実現するための令和12年(2030年)を年限とする17の国際目標を定めたものです。
- このSDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会の実現とは、広島市が目指す「平和」の実現に他なりません。このため、広島市は「国際平和文化都市」の実現に向けて、SDGsを総合計画に掲げる施策の目標として位置付けその着実な達成を目指します。



- これからも広島市は、真に「平和」の実現を目指す「平和記念都市」として、まちづくりに取り組んでいきます。



原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑)



SDGsのロゴ